

「家庭」において男性がより主体性をもって家事や育児等に参加することにより、女性が多様な生き方を自由に選択できる社会の実現に向けて取り組んでいくことが特に重要です。これを機会に、家事シェアについて考えてみてください。



◆ 今日から始める！

家事シェアチェックリスト

	夫	妻	家族
お湯を沸かして沼津茶を淹れて、茶殻の片付けまでやっているのは？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食後に一息ついてソファに直行していませんか？ 洗い物をしているのは誰？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族の予定を把握しているのは誰？言われて初めて行動する人になっていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ささいなことでも「ありがとう」と感謝の気持ちを声にだして伝えていますか？	<input type="checkbox"/> YES	or	<input type="checkbox"/> NO
家事について、ささいなことでも話し合う機会を積極的に作っていますか？	<input type="checkbox"/> YES	or	<input type="checkbox"/> NO

ココがポイント！家事・育児シェアリングのコツ

①スケジュールを見える化して共有しましょう

家事でも育児でも、チームでの共同作業が大切です。「聞いてない」「忘れてた」から始まる不毛な争いもなくなります。

②感謝の気持ちを言葉にしましょう

何事も当たり前と思わずに「ありがとう」を伝えましょう。家事や育児のやり方に不満ではなく提案で伝えることも大切です。

③パラレル家事を取り入れましょう

パートナーが掃除機をかけている間に自分が買い物に行く、のように同時並行すると、連帯感も高められ効率的です。

「沼津には、可能性がある。」
「男女共同参画って、難しそう」「自分には関係ない」——そう感じていた人も、この特集を読んで、少し身近に感じてもらえたでしょうか。
令和8年4月から、第6次沼津市男女共同参画基本計画がスタートしました。5年ごとに積み重ねてきたこの歩みを、市民の皆さんとともにさらに前へ進めていきます。
育児休業を「特別なこと」にしない職場の空気、洗濯物を率先して畳む等の家庭での習慣、さらには夫婦で翌週の予定を話し合うこと。どれも大きな改革ではありません。日常のちよつとした「当たり前前を問いただす」ことから、変化は始まります。
若者にも女性にも「ここで働きたい、ここで暮らしたい」と思ってもらえるまち——沼津にはその可能性が十分にあります。職場が変われば、家庭が変わる。家庭が変われば、まちが変わる。その連鎖を起こすのは、私たち一人ひとりの小さな一歩です。
新しい計画のスタートに合わせて、あなたも今日からひとつだけ試してみませんか。職場でも、家庭でも、地域でも。あなたの1ミリが、このまちを動かしていきます。



沼津市の男女共同参画についてはこちらから



沼津から芽吹く変化の1ミリ

若者女性に選ばれるまち

これからのまちづくりには、人口減少に歯止めをかけ、地域の消費や働き手を確保し、担い手不足を防いで地域の活力を維持するため、「若者や女性に選ばれるまち」という視点が不可欠となっています。

本市における転出超過は、20〜24歳の若い世代で最も大きくなっており、また、一度沼津を転出した若者が、就職や結婚を機にどれだけ戻ってきたかを示す指標である若者回復率は、男性で72・6%、女性で57%となっています。若者全体として流出傾向にあることはもとより、特に女性に選ばれていない状況が明らかとなっています。

また、沼津を転出した人を対象にアンケートを実施したところ、転出理由として最も多い回答は「仕事都合」で、働くことは暮らしの一部であることが分かります。だからこそ、働きやすく働きたいある職場を創出することが、より良い暮らしの実現につながります。

ジェンダーギャップ解消プロジェクト

市では、昨年度から沼津商工会議所女性会や市内事業者の皆さん、全国で活躍する有識者の皆さんと連携・協働し、働きやすく働きたいある職場の実現に向けた「職場におけるジェンダーギャップ解

消プロジェクト」を展開しています。

プロジェクトの第一歩として、市内の多様な業種に勤める若者が集まる場を設け、職場におけるモヤモヤをテーマにワークショップを実施しました。

参加者からは、職場における様々な疑問や気になっていることが共有され、構造的な課題や心理的な課題など、改善すべき点が明確になりました。「気付きを得ることができた。持ち帰って職場に伝えたい」「皆同じような悩みを抱えていることが分かり、当たり前と諦める必要はないと感じた」といった声も聞かれ、参加者一人ひとりの意識の変化にもつながりました。

また、職場のジェンダーギャップを解消するためには現場の小さな一歩に加え、それを支える経営層と行政による環境整備の両輪が必要です。多様な立場からの意見を取り入れながら、働きやすく働きたいある職場の創出に向け、沼津ならではの解決モデルを構築します。

市の未来を支えるには、ここで暮らし、働くすべての人の力が必要です。若者や女性が働きやすい職場は、誰にとっても働きやすい職場であるはずですが、一人ひとりが安心して働き、力を発揮できる環境を整えることが、地域全体の持続的な活力につながっていきます。今後も市民の皆さんと協働し、「選ばれるまち」の実現に向けて着実に取り組みを進めていきます。

